

学会発表のすすめ

情報処理学会関西支部支部大会での発表に関する対談

北原 沙緒理 白井 涼子 (同志社大学大学院文化情報学研究科)



本稿では、2012年度情報処理学会関西支部支部大会にて研究発表を行い、学生奨励賞を受賞した、同志社大学大学院文化情報学研究科の北原沙緒理（以下：北原）および同大学院同研究科の白井涼子（以下：白井）の両名による以下の2観点に関する対談を記述する。

- ・ 関西支部支部大会に参加するにあたっての取り組み
- ・ 関西支部支部大会に今後参加する予定の学生に対する激励

本稿の目的は、上記の2観点に関する対談の様子を通じて、情報処理学会会員（特に学生会員）に関西支部支部支部大会に対して興味を抱かせることである。

関西支部支部大会に投稿したきっかけ

北原：「関西支部支部大会に奮って応募してください」という旨のメールが担当教員の波多野賢治先生から転送されてきたからだね。

白井：懐かしい。論文の最低枚数は2枚でいいから出そうかという感じだったよね。

北原：だったね。

白井：私は夏休みに他大学のワークショップ、研究室合宿の発表が立て込んでいたから、そこで

話す内容を論文にするっていう形だった気がする。

北原：私は8月はインターンシップがあって研究があまり進まなさそうだったから、それまでに研究成果をまとめて発表したかったので、それも兼ねて出したと思う。

夏の合宿から関西支部支部大会発表まで

北原：関西支部支部大会の論文提出後、ワークショップと研究室合宿があったね。

白井：そうそう、参加させてもらったワークショップと研究室合宿の間が1日しかなくて泣きそうだった（図-1）。



写真
発表する
北原

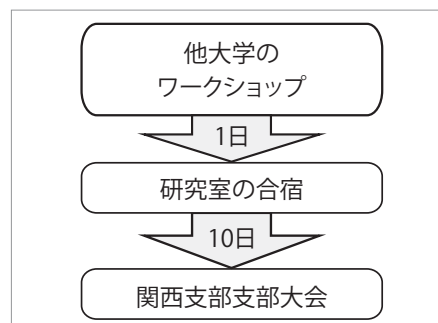


図-1
関西支部支部大会
までのスケジュール



写真
発表する
白井

北原：合宿でいろいろと波多野先生や他大学の先生方から意見をもらって、関西支部支部大会用に実験を1つ増やしたっけなあ。

白井：最後の合宿と関西支部支部大会の間って1週間くらいしか間なかったよね？

北原：1週間で実験追加したよ。

白井：お疲れ様です……。期間があくと、どうしても論文で書いた内容よりも内容が豊富になるよね。

北原：論文は学会に出したらそれで終わりってことはなくて、その後いろいろと受けたアドバイスを基に内容が増えるってことはあるね。

白井：そうそう。その増えた内容を短い時間でどう発表に入れようかと悩む。

北原：そして内容は増えたのに、発表時間は合宿より減ったね。

白井：3連続あった発表の持ち時間がドンドン減っていきっていく。最初は20分、次は15分、最後（関西支部支部大会）は10分だったよな気がする。

北原：5分ずつ減っている…。

白井：毎回どうやってまとめるか考えて、本当に必要な内容だけ書くためにスライドを毎回作り直したよ。

北原：でも、この発表3連続では毎回毎回きちんと用意してきちんと発表できた。

白井：とにかく発表資料を作る！発表練習する！というのを短期間かつ勢いでやったからね。

学生奨励賞受賞について

北原：関西支部支部大会では学生奨励賞もいただけて非常に嬉しかった。今までの研究生活が報われた感じがした。

白井：そうだね。私は怒濤の3連続の研究発表の機会があったから賞をいただけたのかなって思ってる。

北原：我々も学生生活の最後にまだまだ学会発表がありますが、このときの経験を糧に頑張っていきたいものですね！

後輩へのメッセージ

北原：関西支部支部大会は研究室の後輩たちも見に来ていたし、我々の発表や他大学の発表を学会という場で見られたことは彼らにとってもいい経験になったのではないかなと思う。

白井：学会発表をする予定の後輩たちに、学会がどんな雰囲気か触れる機会になったのは良かったと思う。

北原：これが後輩たちのモチベーションアップになったからか、後輩たちと今年度末に学会発表できて良かった。彼らのようにこれが未来の後輩たちも含めたいろんな学生が学会で活躍してくれるきっかけになるといいですね。

白井：そうですね。せっかくいろんな研究の話が聞ける場であり、自分の研究を発表する場なのでもっとたくさんの人たちに参加してもらいたいですね。

(2013年3月8日受付)

■ 北原 沙緒理（学生会員） kitahara@ilab.doshisha.ac.jp

2011年同志社大学文化情報学部卒業、同大学院博士課程前期課程在学中、Web文書内容抽出の研究に従事、2012年度本会関西支部支部大会学生奨励賞受賞、日本データベース学会会員。

■ 白井 涼子（学生会員） shirai@ilab.doshisha.ac.jp

2011年同志社大学文化情報学部卒業、同大学院博士課程前期課程在学中、和歌データの格納手法に関する研究に従事、2012年度本会関西支部支部大会学生奨励賞受賞、日本データベース学会会員。